

# Nakayama Letter

VOL.22  
2025.5.17

# 私のマネジメント哲学

## ～部下とのコミュニケーションを考える～

当社のマネージャー陣に、マネジメントにおける  
部下とのコミュニケーションについて聞いてみました。



求職者支援訓練事業部 部長  
の だ なお き  
**野田 直希**

### 最も大切にしている価値観

#### 全員が平等であること

役職や年齢、キャリアに関係なく、すべてのスタッフには対等の意見を述べる権利があると考えています。一方で「平等」と「同一」は必ずしも同じではないと考えており、スタッフ全員を同じように扱うことはせず、それぞれ個性、役割、経験、実績に応じて適切な関わり方をする「区別」も重要な要素と考え、行っています。

### ●●● 部下とのコミュニケーションで心がけていること

日頃から何気ない声かけや雑談を通じて、話しかけやすい雰囲気をつくることも意識しています。また、雑談内容については仕事ばかりの内容にならないよう注意しています。そして、日頃からスタッフが話しやすい雰囲気をつくることを意識していますが、一方で、必要な場面では付度せず厳しいこと、きついこともきちんと伝える。その際は感情的にならず、相手の立場や状況を考慮して対応することを心がけています。

### ●●● 部下へのフィードバックの際に意識していること

フィードバックでは、まず「事実に基づいて具体的に伝える」ことを意識しています。感情や印象だけではなく実際の行動や結果をもとに話す。また、改善の方向性や次のアクションを明確にして「何が良くなかったか」だけではなく、「どうすれば良くなるか」を一緒に考えるようにしています。

### 最も大切にしている価値観

#### 良い人にならないこと

部下に最速最短で成果を上げさせるための指示や指導を心がけています。継続して仕事を楽しむには、馴れ合いではなく、成果が必須だと考えており、そのために嫌われるなら本望だと心得ています。

### ●●● 部下へのフィードバックの際に意識していること

役職や役割に応じた内容でフィードバックを実施することです。当たり前ですが、役職が上がれば求められる内容も質も上がりますし、役職がなくても会社が求めることに対しての役割は明確にあります。社歴の長短で接し方を変えることは考えていません。

### ●●● 部下とのコミュニケーションで心がけていること

最初はボトムアップを意識して思うようにやらせませんが、成果が挙がらなかったり、自身でやると言ったことをやらなかったりしたときはトップダウンに切り替えます。すべては上記で述べた通りです。

収益不動産事業部 部長  
は っ と り た く や  
**服部 拓也**



賃貸管理部 部長  
ひ ら の わ た る  
**平野 渉**

### 最も大切にしている価値観

#### 必要以上のコミュニケーションは取らないこと

あくまでビジネスでの付き合いという意識だけは忘れず、何のために働いているのかという意識だけは、部下が忘れないようにコミュニケーションを取っています。部下との距離は、近すぎても遠すぎてもいけないと考えています。

### ●●● 部下へのフィードバックの際に意識していること

一方的には話さず、相手の意見を聞くようにしています。自分が話すときは短めに話し、なぜ、部下がそう思うのかをしっかりと深掘りするよう意識しています。

### 最も大切にしている価値観

#### 「上司だから正しい」という考えを捨てる

「上司ではあるが、決して私は偉くない」をモットーにしています。一番大切なのは役職ではなく年功だと考えているため、不動産のことに自信はあっても、他の意見を頭ごなしに否定しては、良いものは生まれません。部下の意見にもしっかり耳を傾けることを意識しています。

### ●●● 部下へのフィードバックの際に意識していること

内容をしっかりと受け止め、よく考えてからわかりやすく説明することを意識しています。その際、部下の表情を見て、本人がどう考えているのかも確認するようにしています。

### ●●● 部下とのコミュニケーションで心がけていること

時間があるときは、仕事意外の話もよくするようにしています。食事に行くときは、業務中には話せないようなことも気軽に話し、コミュニケーションをとっています。



収益不動産事業部  
区分収益課 課長  
た て い し あ つ し  
**立石 篤志**

中山不動産社員の

# 素敵な コミュニケーション

日々の業務の合間に交わされるユーモアを交えた一言や、相手の話に丁寧に耳を傾ける姿勢が、温かな信頼関係を育みます。中山不動産の社員はどのようなコミュニケーションをとっているのでしょうか。社員のエピソードから、素敵なコミュニケーションについて探ります。

この人のコミュニケーションが素敵

みやざき さとし  
**宮崎 哲さん**

その方から学んだこと

用件を単に伝える・依頼するだけでなく、自分も相手も笑顔になれるような言葉の選び方を心掛けたいと思いました。

素敵だと感じたエピソード

直接お話しする機会は多くありませんが、伝言をお願いするときやすれ違いざまの挨拶など、短い時間の中にもユーモアを交えた一言を添えてくださるところに魅力を感じました。

私が思う「素敵なコミュニケーション」

話しかけやすい雰囲気と、ふわっと心がほどける一言だと思います。



管理部 経理課  
やた ゆう こ  
**矢田 優子**

素敵だと感じたエピソード

仕事の話だけでなく、さまざまな話題で多くの方とコミュニケーションをとっている姿をよくお見かけします。また、こまめに感謝の言葉を伝えている印象があります。

私が思う「素敵なコミュニケーション」

相手のことをしっかりと理解し、思いやる姿勢が大切だと思います。人の話を聞くときは、自分の価値観で考えるのではなく、相手の性格を理解し共感するように心掛けています。

この人のコミュニケーションが素敵

そう ま しょう じ  
**相馬 省二さん**

その方から学んだこと

日常のささいな出来事でも、感謝の気持ちをしっかり伝えることが大切だと学びました。また話しやすい雰囲気を心掛け、積極的にコミュニケーションをとることで、相手への理解を深めたいと思います。

この人のコミュニケーションが素敵

そう ま しょう じ  
**相馬 省二さん**

その方から学んだこと

4月から売買部に配属された早川君や部署留学中の新入社員の皆さんにも、私が受けたように丁寧に接し、話をしっかり聞いて、少しでも彼らの成長をサポートできれば嬉しく思います。

素敵だと感じたエピソード

入社以来、さまざまな場面でアドバイスをいただいています。多忙な中でも一度も嫌な顔をせず、いつも丁寧に話を聞いてくださいます。入社当初、査定で苦戦していた際には、22時までお付き合いいただいたこともありました。また、単に質問に答えるだけでなく、次回から私自身で解決策を導き出せるよう、要因分析や問題解決の考え方までご指導くださり、いつも感謝しています。

私が思う「素敵なコミュニケーション」

丁寧さと相手のためになる伝え方ではないでしょうか。中国の「授人以魚、不如授人以漁」（人に魚を与えるより釣り方を教えよ）のように、今後会社を強くするためには、指示を待つだけでなく、自ら解決策を見いだせる人材が必要だと思います。まだまだ未熟ですが、コミュニケーションを通じて相馬さんのように会社に貢献できれば幸いです。

この人のコミュニケーションが素敵

やま だ ひ な  
**山田 紘菜さん**

その方から学んだこと

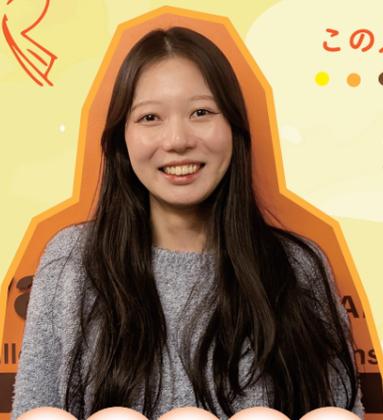
明るい笑顔は周囲に良い影響を与えると学び、自分も笑顔で前向きにすることを心掛けたいと思いました。

素敵だと感じたエピソード

いつも笑顔で電話を取り次ぎ、明るく対応してくださるところが、とても素敵だと感じました。何か質問した際も、多忙な中でも優しく対応していただき、ありがとうございます。

私が思う「素敵なコミュニケーション」

親しみやすさだと思います。明るさや笑顔といった要素はすべて親しみやすさにつながり、相手との対話が穏やかで温かなものになると感じます。



やま だ ひ な  
**山田 紘菜**



あら たに あん じゅ  
**荒谷 杏珠**

